

特集 子どもが健やかに育つまちへ

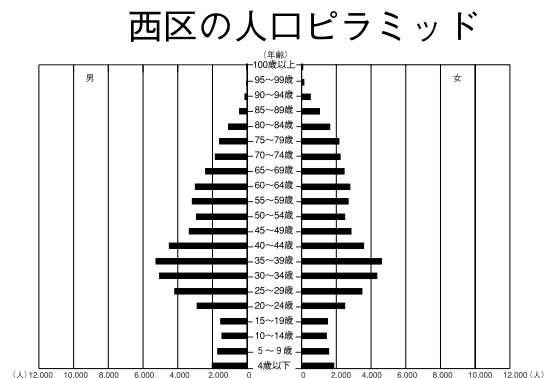
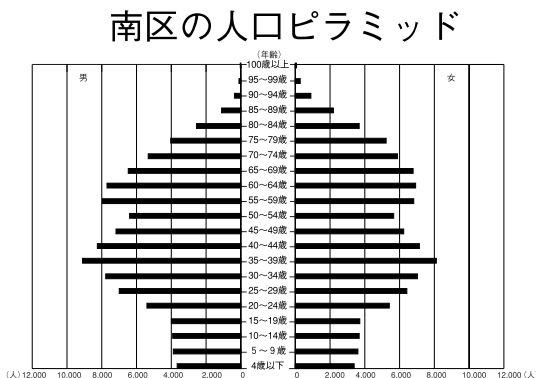
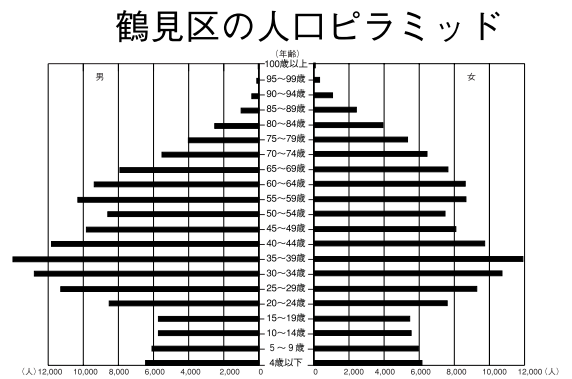
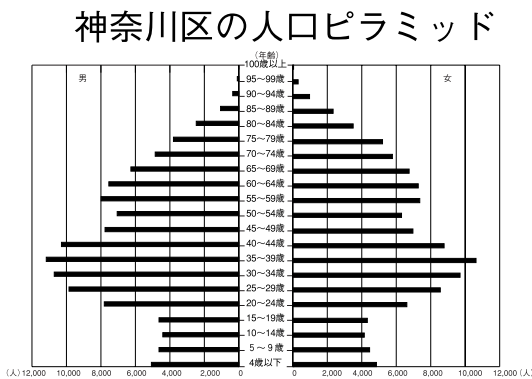
人口という視点から見た神奈川区の特色は、子育て世代である20代～40代の割合が高いという点です。若い世代の区外からの転入・転出も多く、地域コミュニティとの関係が気になります。また、女性の就業意向も高く、認可保育所の待機児童が急増しています。

神奈川区では、こうした背景を踏まえ、子どもが健やかに育つための環境づくり、まちづくりに力を入れていきます。

神奈川区の人口ピラミッド（他区比較）

神奈川区の年齢別人口構成の特徴は、他区との比較において顕著に表れます。たとえば、西区、南区は、世代間の人口数のバラつきが少ないのに対し、鶴見区と神奈川区は、20代～40代の人口が著しく大きくなっています。

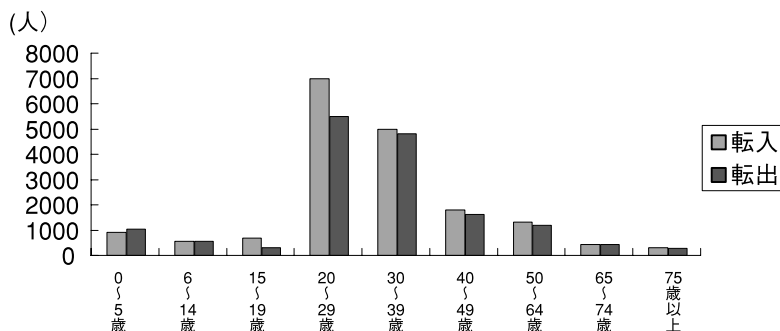
○神奈川区の年齢ピラミッド（他区比較）



〔資料：横浜市人口ニュース〕

若い世代の転入・転出

○神奈川区の人口異動の推移（年齢別）（平成20年）



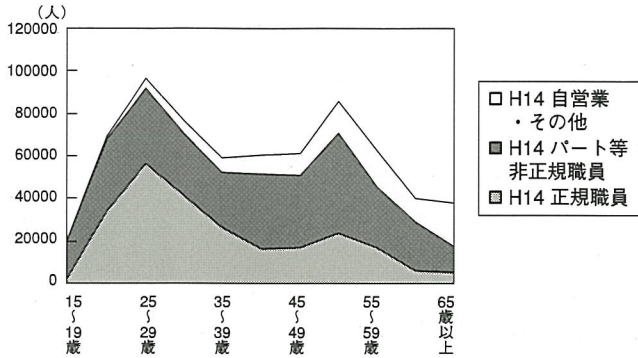
神奈川区は、20代～30代の転入・転出が他の世代と比較して、著しく多くなっています。

〔資料：人口動態と年齢別人口〕

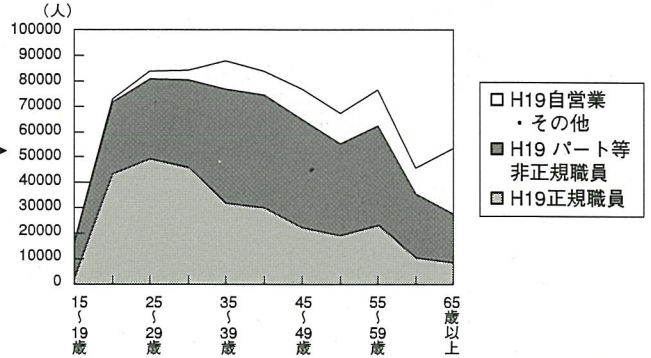
女性の就業状況の変化

女性の働き方に大きな変化が訪れています。女性の雇用は2002年（平成14）の「25歳をピークに急減する年代別就業傾向」が、2007年（平成19）には見られなくなり、正規・非正規雇用ともに増加しています。

○女性の年齢階級別労働力率の推移（2002年）



○女性の年齢階級別労働力率の推移（2007年）

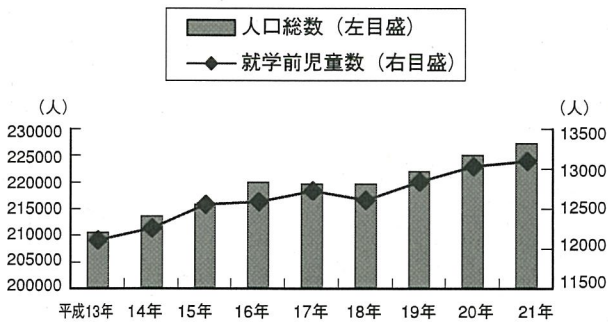


[資料：就業統計基本調査]

就学前児童の推移

神奈川区は、人口に合わせて、就学前児童数も増加の傾向にあります。

○神奈川区の人口と就学前児童数

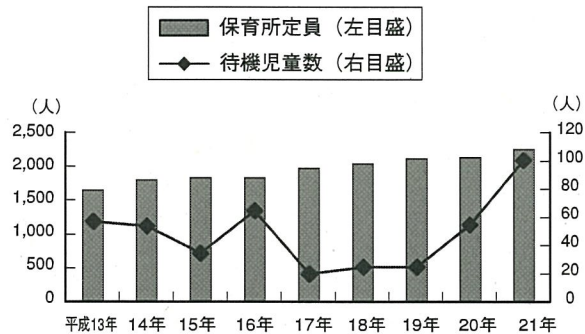


[資料：横浜市統計書]

待機児童数の推移

神奈川区の保育所定員数は、順調に増えてきましたが、認可保育所待機児童数は、平成17年度に一時減少したものの、平成20年度以降の定員増を大幅に上回るようになりました。

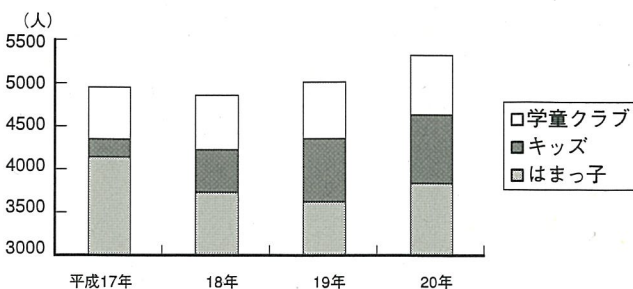
○保育所定員数と待機児童数



[資料：神奈川区こども家庭支援課]

放課後3事業

○放課後3事業登録者数



学童の安全で快適な放課後の居場所づくりを目的として、「放課後キッズクラブ」「はまっ子ふれあいスクール」「放課後児童クラブ」が開設されています。登録者は年々、増加傾向にあります。

[資料：神奈川区地域振興課、横浜市こども青少年局]